

議会だより入善

GIKAI DAYORI

NYUZEN

No. 201

2022年4月27日



3月
定例会

じゅわ〜と
にゅげん

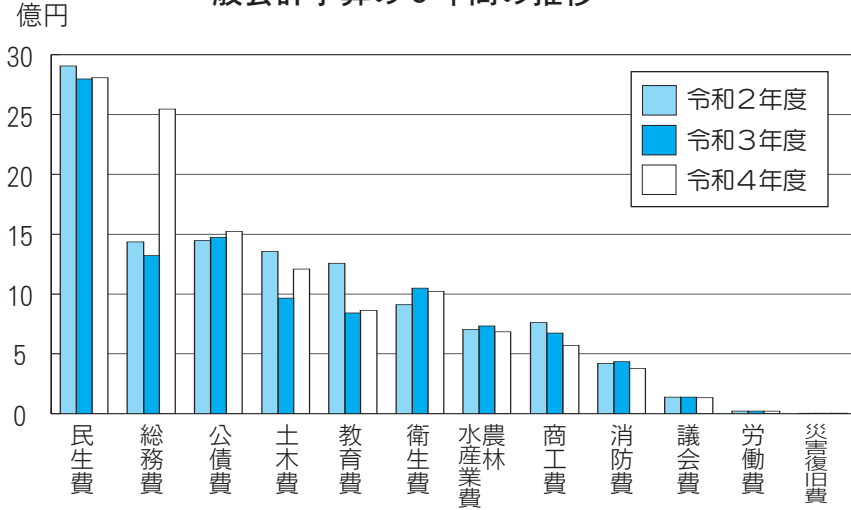
子どもたちに大人気（中央公園）

主な内容

- 役場新庁舎建設に向け過去最大の予算！ … 2P
- 代表・一般質問（8議員） … 8P
- 常任委員会レポート … 16P
- 入善町の介護予防事業 … 18P

役場新庁舎建設に向け 過去最大の予算!

一般会計予算の3年間の推移



新年度予算の特徴

3月定例会は、1日から16日までの16日間開会し、町長から提案された令和4年度の一般会計予算1件と特別会計予算5件、令和3年度補正予算5件、令和3年度一般会計補正予算の専決処分事項の承認2件、条例の一部改正など議案16件のほか、議員提出議案2件を審議し、すべて可決した。また、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意した。請願1件については採択とした。

一般会計 116億7200万円
特別会計 45億9430万円(5会計)

令和4年度の一般会計予算は、前年度当初予算と比較して13・3%の増となり、役場新庁舎整備に係る事業費などを盛り込んだ過去最大の予算となった。同予算では、「ストップ人口減少」の実現に向けた3つの柱に関する事業の充実、重点化を図っている。

ストップ人口減少！未来に向けて 飛躍を目指した積極型予算

(1) 子どもを産み育てやすい 環境づくりによる「出生数の増」

- ・1歳から6歳までの未就学児の保護者に対し、対象児童一人当たり1万円の子どもの子育て応援券を支給する。 710万円
- ・小中学校体操服購入に対し1万円を支給し、子どもの成長に合わせた節目ごとの支援を行う。 356万円

(2) 健康寿命の延伸による 「自然減の抑制」

- ・町内の医院で開設している病児・病後児保育施設の改築工事費を助成する。 3731万円

(3) 1ターンのやUターンの促進と 地域活性化による「社会増」

- ・民間宅地開発補助金の要件の緩和とともに、宅地購入者に対する支援を拡大し、町への移住・定住を後押しする。 930万円
- ・空き家の利活用の促進、移住・定住の促進等につなげるため、改修支援の拡充と解体支援を増額する。 1967万円
- ・マッチングイベントへの参加により、企業のサテライトオフィス誘致を推進する。 124万円

- ・住民健診WEB予約システムの導入で、受診率の向上を目指し、病気の予防や早期発見・治療につなげていく。 55万円
- ・認知症対応型通所介護施設整備を支援する。 1190万円
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、住民へのワクチン接種費用(3回目)を計上する。 7985万円

その他の主な予算

- ・役場新庁舎の整備に係る建設工事費等を計上する。 12億5095万円
- ・西入善駅の利用者等の安全性向上を図るため、駅周辺の環境整備に向けた計画を作成する。 190万円
- ・桃李統合保育所（仮称）整備に向けた遊具、外構、イントラネット設置工事および備品購入費を計上する。 6244万円
- ・全小中学校へのスタディメイト派遣を拡充し、児童生徒に寄り添った就学支援体制を構築する。 1043万円
- ・ジャンボ西瓜とチューリップ球根の後継者対策として、新規就農者と各生産組合の技術指導に対し支援する。 1053万円
- ・子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨の再開およびキヤッチアップ接種を実施する。 2392万円
- ・地域ICTプラットフォーム型アプリの導入支援により地域活動のデジタル化による省力化や効率化を推進する。 124万円

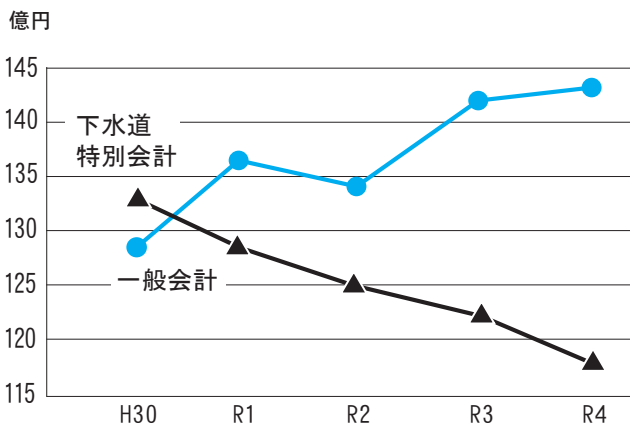
議員提出議案

- ・ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議
- ・シルバー人材センターの安定的な事業運営のために適格請求書等保存方式導入に係る適切な措置を求める意見書

賛成全員で可決

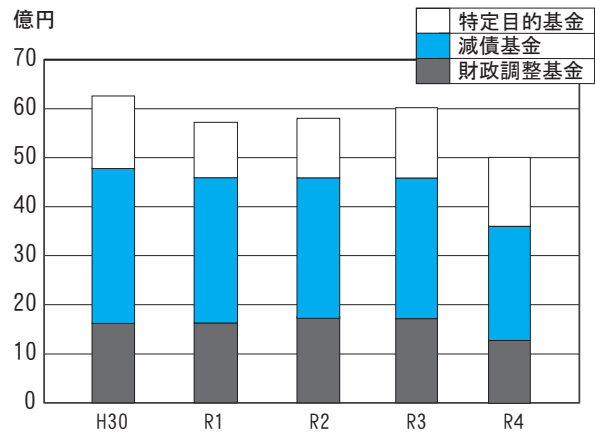
◎町の貯金と借入金

一般会計と下水道会計の借入金残高



借入金残高・基金残高ともに令和3年度、4年度は見込額

一般会計の基金（貯金）残高



財政調整基金：将来への財源不足を補うための貯金
減債基金：借入金の償還に充てるための貯金
特定目的基金：特定事業のための貯金

工事契約と工事変更契約を議決

予定価格が5000万円を超える公共工事の請負契約について可決した。

○桃李統合保育所（仮称）整備事業

・建築主体工事請負契約

請負者 廣川建設工業株式会社
請負金額 4億7960万円

・電気設備工事請負契約

請負者 有限会社長島電気工事
請負金額 5403万円

・給排水衛生設備工事請負契約

請負者 花田配管
請負金額 5386万円

・空調設備工事請負契約

請負者 有限会社上田管工事工業所
請負金額 4714万円

○海洋深層水取水施設整備工事変更契約

請負者 清水建設株式会社北陸支店
変更後金額 4450万円増額し
9億7477万円

請願

シルバー人材センターの安定的な事業運営のために適格請求書等保存方式導入に係る適切な措置を求める意見書に関する請願書

請願者 公益社団法人入善町シルバー人材

センター 代表理事 金澤 好夫

賛成全員で採択

3月補正予算を可決

【一般会計】

15億814万円を増額し、
総額134億5759万円とする。

◎一般会計の主な事業

- 海洋深層水取水施設等整備事業費
9億9187万円
海洋深層水取水施設整備に係る事業費を計上する。
- 学校施設維持管理費
5836万円
上青・黒東・桃李・ひばり野小学校のランチルーム空調設備設置工事費を計上する。
- 道路維持管理費
4866万円
橋梁補修工事費を増額する。
- 担い手育成対策事業費
3274万円
農業の担い手確保・経営強化支援事業に係る補助金を計上する。

【特別会計】

- ・国民健康保険特別会計
6610万円を増額
- ・下水道特別会計
繰越明許費2436万円とする
- ・後期高齢者医療特別会計
3160万円を増額
賛成全員で可決

条例の改正

次の条例案を審議し、賛成全員で可決した。

- ・入善町消防団条例の一部改正
- ・入善町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正
- ・入善町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ・入善町個人情報保護条例の一部改正
- ・入善町国民健康保険条例の一部改正
- ・入善町子ども医療費助成に関する条例の一部改正
- ・入善町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ・入善町高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の一部改正
- ・入善町定住促進住宅条例の一部改正

入善町固定資産評価 審査委員会委員の選任

3月19日で任期満了となる審査委員に、引き続き上野和博氏を選任することに同意した。
(任期は3年)

討論

令和4年度 一般会計予算

反対討論

井田 義孝 議員

これまでの大型事業の集中により地方債残高は140億円を超える見込みで、6、7年前には12億円

を上回る程度であった公債費は15億円を超えている。この数年、必要な事業であっても一気に集中させず、中長期的に計画して公債費の急激な上昇を抑えるよう求めてきており、このような財政運営には賛成できない。

今回の予算には、コロナ禍で経済的に困っている人や中小零細事業者への経済的支援の予算は全く盛り込まれていない。

子育て支援や子どもの医療費、その他いくつかの点で積極的に評価できる施策も多々あるが、基本的に国の補助金で行う大型事業中心の予算となっており、より町民生活に寄り添う予算になるよう要望する。

賛成討論 田中 伸一 議員

役場新庁舎整備や海洋深層水取水施設整備、桃李統合保育所（仮称）整備などの大型事業をはじめ、道路改良や無雪害街づくりなどの生活環境整備に関する事業、また、学校ランチルーム改修など子どもたちの学習環境整備に係る事業が予算化されている点を評価する。

特に、大型事業の財源として、役場新庁舎整備では「緊急防災・減災事業債」、海洋深層水事業では総務省の「地方創生拠点整備交付金」と、国の支援を受けられるようになった点は、評価する。

子どもを産み育てやすい環境づくりのため小学校体操服購入支援、病児保育施設整備助成など、また、結婚活動支援や不妊治療費助成、スタディメイト派遣などが拡充され、結婚から子育てまで切れ目のない支援の成果が十分に表れることを期待する。

賛成討論 松澤 孝浩 議員

令和4年度予算は、「ストップ人口減少！未来に向けて―飛躍を目指した積極型予算」である。予算内容では、新規に病児保育施設整備助成、不妊治療費助成の拡充、教育ICTではAIDリルとロイノートの本格導入、中学校へのスタディメイトの派遣、部活動指導員の増員など、ソフト事業にもきめ細かに予算化されている。また、ハード事業として、役場新庁舎整備事業、桃李統合保育所（仮称）整備事業などの継続事業が予定されており、高く評価するものである。健全財政の堅持に努め、町民の負託に応える予算として期待している。

臨時会 1月20日

1月臨時会では、令和3年度一般会計補正予算を審議し、賛成全員で可決した。

歳入、歳出ともに2億3821万円を追加し、総額118億6944万円とした。

◎一般会計補正予算

○住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費 2億3821万円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、影響の大きい住民税非課税世帯に対し、一世帯当たり10万円の臨時特別給付金を支給する。

1月臨時会の議決状況

		鍋嶋慎一郎	鍵田 昭	池原 純一	岡島 功	井田 義孝	本田 均	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里国明	佐藤 一仁	松澤 孝浩	松田 俊弘	元島 正隆
議案第1号	令和3年度入善町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3月定例会の議決状況

承認第1号	専決処分第1号 令和3年度入善町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第2号	専決処分第2号 令和3年度入善町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第1号	ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和4年度入善町一般会計予算	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第3号	令和4年度入善町国民健康保険特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和4年度入善町簡易水道特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和4年度入善町育英奨学資金特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和4年度入善町下水道特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和4年度入善町後期高齢者医療特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和3年度入善町一般会計補正予算(第12号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和3年度入善町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和3年度入善町下水道特別会計補正予算(第2号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和3年度入善町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	入善町消防団条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」：賛成、「×」：反対、「欠」：欠席

議案第13号	入善町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	入善町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	入善町個人情報保護条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	入善町国民健康保険税条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	入善町子ども医療費助成に関する条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	入善町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	入善町高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	入善町定住促進住宅条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	公の施設の指定管理者の指定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	町道路線の認定及び変更について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	シルバー人材センターの安定的な事業運営のために適格請求書等保存方式導入に係る適切な措置を求める意見書に関する請願書	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	令和3年度入善町一般会計補正予算(第13号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	桃李統合保育所(仮称)整備事業 建築主体工事請負契約について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	桃李統合保育所(仮称)整備事業 電気設備工事請負契約について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	桃李統合保育所(仮称)整備事業 給排水衛生設備工事請負契約について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	桃李統合保育所(仮称)整備事業 空調設備工事請負契約について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	入善海洋深層水取水施設整備工事変更契約について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第1号	入善町固定資産評価審査委員会委員の選任について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第2号	シルバー人材センターの安定的な事業運営のために適格請求書等保存方式導入に係る適切な措置を求める意見書	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」：賛成、「×」：反対、「欠」：欠席

庁舎整備検討 特別委員会レポート

2月10日庁舎整備特別委員会を開催した。

現時点での、入善町新庁舎建設事業の概要は次のとおりである。

敷地概要

- ① 所在地 入善町入膳423番1ほか
- ② 面積 9477㎡

建設概要

- ① 構造、階数等 鉄筋コンクリート造(二部鉄骨造) 三階建て
- ② 建築面積 約2900㎡
- ③ 延床面積 約5500㎡
- ④ フロア計画 一階 町民窓口・事業者窓口等
二階 管理事務窓口・教育委員会等
三階 議場、議会関係諸室等

事業費

- (令和4～5年度)
- ① 建設工事費 32億1840万円
- ② 庁舎建設費・外構費(庁舎建設費・車庫棟建設費) 2億6910万円
- ③ 移転費等その他事業費 2億350万円

事業費合計金額 36億9100万円

防災力の強化(非常用発電設備・7日間稼働)

脱炭素社会実現、SDGs等への対応(太陽光発電設備・井水利用空調システム採用等)

建設スケジュール

- ① 建設工事期間 令和4年度から令和5年度(2カ年)
- ② 開庁予定 令和6年5月

概算事業費の変更と町負担について

平成30年度の計画時からの変更金額

①総事業費

約27億4千万円から約39億5千万円に

②借入額

約21億4千万円から約34億円に

③国からの交付税

約6億3千万円から約14億円に

④一般財源

約6億円から約4億7千万円に

⑤町の実質負担額

約25億円から約27億7千万円に



新庁舎外観イメージ

交通網対策
特別委員会レポート

3月16日に第2回交通

網対策特別委員会を行

い、この間の町内公共交通の現状と課題について報告を受け議論した。

令和2年度並みの利用だが、令和元年度水準には戻らず

●主な質疑と確認点

コロナ禍後に利用者2万人を達成できるように

町営バスのらんマイ・カーの2月までの利用者は、令和2年度比101%の15472人、1日当たり47人の利用だ。令和元年度比では82%だった。

ウチマエくんの2月までの利用者は、令和2年度比104%の11934人、1日当たり42・3人の利用だ。令和元年度比では85%だった。

コロナ前の利用に回復させることが課題だ。ウチマエくんは回復した場合予約混雑の解消に車両増台などの検証が必要で

ある。

問 コロナ禍前の利用に戻ったら、ウチマエくんは現行3台体制で目標の2万人を達成できるのか。

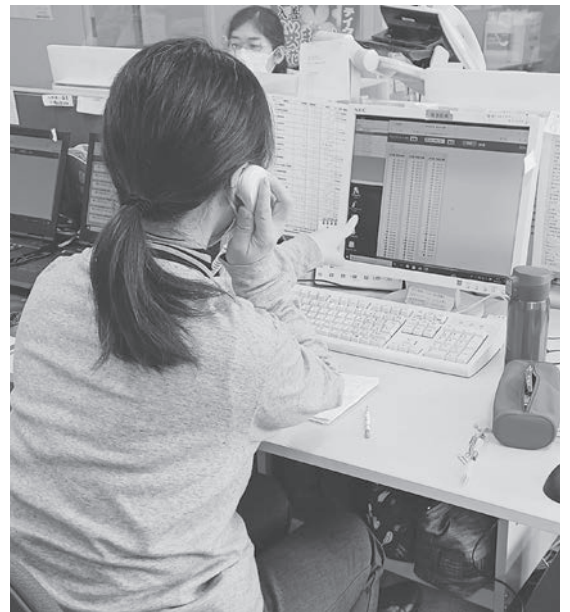
答 令和元年度をみると予約が取りづらく3台では難しい。ニーズを捉え、対策を検討したい。

問 登録者は増えているのか。利用者を増やすためにも登録者を増やすべきだ。

答 平成30年度に1395人だったが、現在は1900人とかなり増えている。

全免許返納者に登録をお願いしている。出前講

座も行っていく。



ウチマエくんの予約受付

利用実態のデータを分析せよ

問 どこで乗ってどこへ行く等の調査はしているのか。

答 利用者は変わっているが、予約センターのデータで実態はつかんでいる。

問 地区別の利用状況はどうか。また免許返納者の登録や利用状況はどうか。いろんな角度で分析できるデータが必要だ。

答 利用は着実に増えてきている。どんな方がど

のように利用しているかしっかりと検証したい。

問 利用者が固定化してきたのではないか。

答 のらんマイ・カーについては沿線の方々と高校生が利用している。ウチマエくんは徐々に利用が増えている。一番の利用集中は丸川病院のリハビリだ。

問 運転手によってサービスに差が出ないよう均一化すべきだ。荷物を持つのは契約内か。

答 均一なサービスにな

その他

るよう打ち合わせる。荷物運びは契約ではないが、予約システムが時間指定になったので余裕がないのかもしれない。

問 インターネットで予約や運行状況がわかるようにならないか。

答 システム上はできるが、現状では電話の方が利用者にはわかりやすい状況だ。しっかりと検証し、どこかの時点で取組んでいきたい。



デマンド交通ウチマエくん



新庁舎の整備予定地

入善町長選挙に再度出馬する考えはあるか
町長 再び託していただけるのであれば
町長として粉骨砕身、町の発展に力を注ぐ



中瀬 淳哉 議員（会派 アクト）

問 町長は、自分の思い描く入善町の未来を実現するため、町長選挙に再度、出馬する考えはあるのか。

笹島町長 私の思い描く町の未来は「もつといい街、住みよい入善」だ。今日までこのテーマを掲げ、町の発展に向けて歩みを進めてきた。その成果が、いくつも現れていると感じている。しかし、まだまだ道半ばだ。私たちを取り巻く環境は、少子化、超高齢社会など大変厳しい状況だ。私が50年余りで得た行政経験を生かし、この町に関わる全ての人々に夢と笑顔があふれるまちづくりを目指すことこそ、私の使命である。

町民から、町政のかじ取り役を再び託していただけるのであれば、町長

として全身全霊をかけて、粉骨砕身、入善町の発展に力を注ぐ所存だ。

新庁舎整備予算の大幅増で財政運営の影響は国庫補助金等で大幅な軽減を図っている

問 新庁舎整備にかかる予算が合計で39億5千万円余りとなった。平成30年度に議会に提示した概算予算に比べ、約12億円の大幅増となった。

この増額により、財政運営に今後どのような影響を与えるのか。

町長 全体事業費のうち、34億円余りは、地方債で賄う予定だ。この地方債の元利償還金による

町財政のひっ迫が懸念されるところではある。

しかし国庫補助金や、国からの財政支援がある有利な地方債を活用することで、財政負担の大幅な軽減を図っている。

今後の財政運営に関しては、シミュレーションを重ねながら、健全財政の堅持に努めていく。

あわの産婦人科の存続危機をどう考えるか
なくなった場合、町にとっては大きな痛手

問 町にとって、なくてはならないあわの産婦人科医院の経営が厳しく、存続の危機の状況だ。

この現状をどのように考えているのか。

町長 町から産院がなくなる可能性がある、町が行っている手厚い子育て支援策のいくつかができなくなる可能性がある。

一層の少子高齢社会に拍車がかかる恐れもあり、町にとっては、大きな痛手を負うことになることと認識している。

問 存続できるような支援をしていくべきだ。

町長 経営危機を抱える一業種に対し、支援をするのはなかなか難しい。

産婦人科に限って支援をするとなると、他の診療科の医療機関との整合性が図られないと考えられるからだ。

町としてはどのような対応ができるのか、また、圏域的な課題でもあり、県と一緒に考えてこの課題に取り組んでいきたい。

「ワンチームとやま」連携推進本部会議でも、県に産科医院の存続などについて要望している。

小水力発電と一体化した新しい農業化をめざせ
 がんばる 町内用排水路は小水力発電に
 農政課長 適するが、新しい農業への研究が必要



小水力発電で農業や町の活性化に

問 農業用水を利用した小水力発電で、再生可能エネルギーと一体化した新しい農業に取組み、国家戦略特区を目指しては

どうか。

長島 がんばる農政課長

昨年12月に、転作率が40%超と決定した。米の需要の大幅回復は見込めないので転作率は高くなっていくと思う。

町内の用水は小水力発電に適した環境だが、活用に良案がない。脱炭素社会に向け、町の地域資源を活用した新しい農業に向けて、研究に取組む。

大型事業が町経済に与える影響や効果は

コロナ禍の町経済にインパクトを与える

問 役場新庁舎整備で、資材の高騰や調達遅れが懸念されるが、対策はな

されているか。

笹島 町長 庁舎整備で

は、新年度に本体工事に着手する。今後の資材や労務費等の上昇分として約1億1000万円をさらに見込んでいます。

問 海洋深層水取水施設整備では、今後の事業展開の見込みはあるのか。

町長 株式会社ウーケが第4ラインを増設した場合、深層水の供給が不足することから、地方創生拠点整備交付金を活用してこの事業を始めた。

増設は未定だが、カキの蓄養やサクラマス等の実証実験も事業拡大の構想を持っているようだ。

問 新年度の大型事業

が、町の経済に与える影響や効果をどのように考えるのか。

町長 新庁舎をはじめ、保育所整備、幹線道路や通学路、市街地の狭い道路の解消や踏切改良などに事業費を計上した。

さらには、海洋深層水関連事業や学校ランチルーム空調設備、道路橋梁長寿命化にも3月補正予算で計上している。

これらの大型事業が、コロナ禍で停滞している町の経済に、大きなインパクトを与えるものと認識している。

次期町政に対する意気込みは

町民の負託を得られれば責務を果たしたい

問 現町長として、大型

事業の完成を見守る責務があると思う。次期町政に対する意気込みは。

町長 役場新庁舎整備は、町長1期目の平成28年度から準備を始めた。深層水事業も平成29年から要望活動を開始した。各事業が完了するまで2年余りが必要だと思う。

自身が始めた事業を、最後までやり遂げるのが、私の責務だと考える。町民の皆様の負託を得ることができれば、町長としてその責務を果たしていきたい。

その他の質問

・消防団員の処遇改善と各消防分団の維持管理費の改善について



佐藤 一仁 議員 (会派 自民清流会)



2100年には43度？環境省の予測より

**3回目ワクチン接種の見通しは
検査や治療は受けられるのか**
**高齢者は7割接種済で5月には一定数完了
薬局では検査キットの不足はない**



井田 義孝 議員（会派 日本共産党）

問 3回目のワクチン接種の現状と見通しはどうか。県の無料PCR検査や在宅で治療は受けられるのか。

笹島町長 3月7日現在で18歳以上の対象者の35・7%が3回目を接種、65歳以上の高齢者では69・6%だ。今後接種が進めば18歳から64歳の方は5月頃には一定数が完了する見込みだ。
5から11歳の小児は3月12日から開始し、9月末には接種が7割に達する見込みだ。
県の無料検査は、不安を感じているが無症状の方が対象で、町内2薬局では検査キットの不足もなく十分対応できている。治療薬モルヌピラビルは安定供給が難しく、登録された医療機関と薬局へ配分されており、家庭

内投与の例は極端に少ない。

**断熱住宅やCO2削減企業に支援を
県に支援を相談したい**

問 近年、気候変動による異常気象で酷暑や豪雨、巨大台風や豪雪などによる災害が多発しており、地球温暖化対策は急務だ。
入善町にはウーケの廃熱で深層水を温め力キの殺菌に使ったり、浄化センターの風力発電など先進例がある。町の地球温暖化対策の現状はどうか。
町長 循環型社会をめざしさまざまに取組んでいる。

新たな取組みとして役場新庁舎の地下水を活用した空調や、洋上風力発電の電力地産地消が計画されている。

問 2030年までの計画はどうか。
泉住環境課長 2010年から20年までの計画では、二酸化炭素を23%減らすとしていたが、2018年までに12・9%削減された。引き続き取組んでいく。

問 温暖化対策を新たな産業の創出と捉え、断熱住宅へのリフォームやCO2削減に投資した企業に支援を。
田中キラキラ商工観光課長 企業の投資が見込まれるようなら、県の補助対象に加えてもらえるよう相談したい。

**保育士と学童指導員の賃上げの現状は
会計年度任用職員を2月から賃上げ**

問 国は看護師や保育士、介護職や学童保育指導員の賃金を、3%程度引き上げるための交付金を支給した。
町内の賃上げの実態はどうなっているのか。
真岩総務課長 町内においては2月から、会計年度任用職員の保育士、保育補助員、学童保育指導員、そして国の交付対象外の調理師にも1から5%の賃上げを行った。新年度も引き上げ後の額で支給する。

職員に明るさの元で食事を

総務課長

健康を考えると共に

SDGsも推進



昼食時に消灯している役場庁舎

問 職員の昼食時の消灯を遅らせることは出来な
いか。これは、基本的人
権の問題と思うが。

真岩総務課長 お昼休み

の時間帯を利用して来庁
されるお客さんも多いこ
とから、昼食時の消灯に
ついては、窓口業務を主
とするエリアにおいて
は、基本的に常時点灯し
ている。

近年、盛んに叫ばれて
いる「SDGs」や「脱
炭素化」といった取組み
への一環としても、町職
員が積極的に取組むこと
により、町民へのアピー
ルにもつながるものと考え
ている。

暗い室内で食事を摂る
のは、眼や精神面におい
ても、少なからず影響を
及ぼすことも否定できな
いものと認識している。
従って天候の悪い時な



岡島 功 議員

ど、室内が非常に暗い時
には昼食休憩の時間にお
いても、必要に応じて照
明を点灯するなど臨機応
変に対応していきたい。

なお、職員の健康管理
面においては、定期的な
健康診断の実施や、人間
ドック受診費用の助成な
どの支援、またストレス
チェックの実施などによ
り、職員の健康維持に引
き続き努めていく。

**プロポーザル方式の入
札実績は**

**新庁舎の基本設計では
8社から申請**

問 先日、富山市でプロ
ポーザル方式入札で官製
談合があったが、町のプ

ロポーザル方式の入札に
ついて説明を求める。

梅津副町長 海洋深層水
取水管布設工事について
は、海洋深層水の需要の
増加やさらなる利用拡大
に対応するため、取水管
を増設するものである。

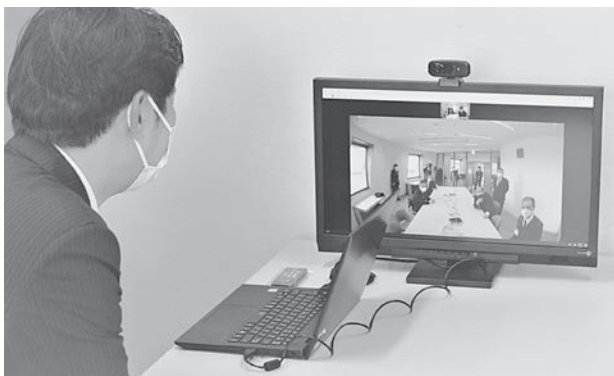
この工事にあたって
は、高度な技術力等が求
められることから、業者
を指名して技術提案を求
める「指名型プロポーザ
ル方式」により請負業者
を決定している。

結果としては、海洋深
層水取水施設工事に全国
に実績のある7社を指名
したところ、うち2社か
らの参加願いおよび技術
提案があった。審査の結

果、清水建設株式会社に
決定し、昨年9月議会に
おいて契約の議決を得た
ところだ。

また、新庁舎整備の基
本設計業務については
は、参加者を公募する「公
募型プロポーザル方式」
で請負業者を決定した。
なお、公募にあたっては
全国を対象としている。

結果としては、ホーム
ページや報道機関等で公
募したところ、8社から
の参加表明があり、技術
提案の審査等の結果、「株
式会社安井建築設計事務
所東京事務所」を最優秀
提案者として選定し、一
昨年10月に委託契約を
締結した。



リモート会議の様子

サテライトオフィス誘致事業 進捗と今後は
キラキラ商工 サウンエル内に体験施設完成
観光課長 マッチングへ町の魅力発信



池原 純一 議員

問 令和3年度新規事業としてサテライトオフィス誘致推進事業に取組まれているが、現在の進捗状況と今後の進め方は。

田中キラキラ商工観光課長

この事業は、「体験施設整備」と「誘致活動」の大きく2本の柱を立てて、取組んでいる。

まず、体験施設整備として、健康交流プラザ・サウンエル内に「入善町サテライトオフィス」を整備した。利用対象は、町内へのサテライトオフィス進出を検討されている個人を含む県外事業者とする。

次に、誘致活動では、地方へのビジネス参入を真剣に検討する意欲の高い企業との対面での商談が可能となるマッチングイベントが、国や県においてもいくつか企画され

ている。

それらの情報収集に努め、機会を捉え積極的に会場へ出向き、町の魅力をしつかりとPRし、町にサテライトオフィスを呼び込んでいきたい。

問 コワーキングスペースの利用状況の整理や意見の集約などをどのように図っていくつもりか。

田中課長 利用者との意見交換を積極的に行い、施設に関する要望のほか、利用者同士のコミュニケーションを通じた事業のマッチングの可能性など、さまざまな意見を聞かせてもらうことで、施設の機能性及び利便性向上に絶えず努めていきたい。

建設工事の入札や検査の電子化対応は
今後、電子化の研究をしていきたい

問 建設工事の完成図書提出書類や検査方法は県に準じているのか。

高源建設課長 検査方法等については県に準じて行っている。

電子納品による検査については一定の設備が整っておらず実施していない。今後は電子化については研究していきたいと考えている。

問 入札時に工事費を算定する設計図書がワークシートになっていないと聞かざるがなぜか。
竹島企画財政課長 データ形式で行うと情報漏洩

の可能性がることから画像形式のPDF形式で行っている。

公共施設の学習室などの環境改善を

家庭での学習を推奨、時間延長は考えてない

問 町内公共施設の学習室やリモートワークスペースの充実を。

若林教育委員会事務局長 教育委員会では、家庭での学習を推奨している。町民会館の学習室は、町内で唯一の学習専用のスペースであるが、午後6時までの利用としては、時間延長については、考えていない。

通信環境改善は、利用者ニーズをしつかりとらえ、検証する必要がある。

洋上風力発電事業の出資計画はどうか
キラキラ商工 地域新電力会社設立に
観光課長 出資する方向で取組む



洋上風力発電建設イメージ

問 横山地区の洋上風力発電設備の建設工事は、民間では全国初の事例であり、新電力会社の設立も計画されている。

その企業体への出資を考えているのか。

田中キラキラ商工観光課長

新電力会社については、町で作られる再生可能エネルギーを地産地消することを目的とした、地域密着型の電力小売業者である。

新電力会社のうち、自治体からの出資により設立された地域新電力会社は、全国にも数多く設立されている。

地域内の電力需要に対し地域内で供給を確保することにより、経済の循環を図るものであり、地域活性化に向けた取組みとして期待が寄せられている。



本田均 議員

この新会社を設立した場合には、電力の地産地消やCO₂排出量の削減、公共施設の電気料金の削減など多くのメリットがある。

さまざまな民間事業者とも連携しながら、新会社設立に向け、取組んでいきたい。

また、再生可能エネルギー由来の電力の地産地消の取組みが、町のカーボンニュートラルの重要な取組みの一つとなるよう、対応していく。

社会的孤立をどう認識しているのか
孤立化に至らないよう各種施策に取組む

問 社会的孤立によって色々な問題が起きているが、当町において、孤立化に至るおそれのある現状はどうか。

また、社会的孤立をどう認識し、課題解決に向けてどのような施策を行っているのか。

笹島町長 令和3年度の一人暮らし高齢者世帯数は、施設入所者を除き令和3年4月1日では1213世帯である。

また、生活困窮により孤立化に至るおそれのある、生活保護世帯は令和2年度の平均で、31世帯である。

取組みとしては、民生委員・児童委員による地域の見守り体制の支援など、各種施策に取組んで

いる。

また、それぞれの事業から集まる情報を集約し、緊急時には関係部門が迅速に連絡を取れるように、重層的、包括的な支援体制の構築に努めている。

今後は、不安を抱える人に必要な支援が届くよう、個人の属性や世代を問わない相談支援体制、いわゆるアウトリーチによる支援や伴走型支援を行う。

加えて、「支援のつなぎ目が切れ目」とならないよう、県や関係機関と連携を強化していくことが必要である。

国の対策を注視しつつ、町民一人ひとりが、暮らしたに「生きがい」をもって「イキイキ」と過ごせる地域共生社会の実現に向けて、しっかりと取組んでいく。



県リハビリテーション病院・子ども支援センター

発達障がいの子と保護者の支援に
町独自のセンターの設置を
教育長 児童精神科医も活用し支援を進める



松田 俊弘 議員

問 町内の小学校では、発達障がいなどの子ども
の学びをサポートする特
別支援学級に34人が在籍
していると聞く。

また、通常学級に在籍し、学習や行動面が苦手
で通級指導教室で指導
を受けている児童数は
102名で、9年前の17
人から大幅に増えてい
る。この中には発達障が
いの可能性のある児童も
含まれている。
しかし、そうした子ど
もを診療する児童精神科
医は、県内で10人にも満
たず、県リハビリテー
ション病院の専門医もわ
ずかに1人で、心の問題
を抱える子どもに対応し
きれていない。
県は新年度、リハビリ
テーション病院の児童精
神科の医師を2人にする
としているが、それでも

不十分だ。

町として保育、教育、
保健、福祉などの各部署
で構成し、専門の医療機
関などと連携した独自の
支援体制を検討すべき
だ。

小川教育長 町では、保
健師や保育士が専門員の
アドバイスを受け、困難
を抱える子どもの様子を
保護者に伝える取組みを
進めている。
また、子どもの発達や
行動などで不安を抱える
保護者が相談できる場と
して、育児相談会や高校
生まで対象の「にこにこ
相談会」を取組んでいる。
今後も県が増員する児
童精神科医も活用し、支

援を進めていきたい。

ペアレントプログラム
を就学生の保護者にも
必要性について検証し
ていく

問 保護者を支援するた
めに、子どもへの向き合
い方を身に付けるための
ペアレントプログラム
を、小中学生の保護者ま
で拡げるべきだ。

教育長 町では、「育て
にくさ」を感じている1
歳から4歳児とその保護
者を対象に、ペアレント
プログラムの考え方を踏
まえた「親子のびのび教
室」を平成27年度から実
施している。
就学後の導入について
は、必要性について検証
していく。

ペアレントメンターを
増やし活動の場を
養成方法などの動向を
注視し研究したい

問 発達障がいの子ども
をもつ親が、同じような
境遇にある親の心のサ
ポーターをする人をペア
レントメンターと呼んで
いる。

ペアレントメンターに
なるには、一定の研修が
必要で、町内には1人し
かない。
保護者の横のつながり
を拡げるためにも、ペア
レントメンターを増や
し、活動の場を設けるべ
きた。
教育長 ペアレントメン
ターの活動は、効果的な
支援策だ。今後、養成方
法や活動状況などの動向
を注視し、調査・研究を
進めたい。

「遺恨」「禍根」感情を
払拭し新庁舎建設を
副町長 要望があれば出前講座という形で



移転・建て替えの現庁舎



五十里 国明 議員

問 8号線の下に町民の65%が生活する住民の民意を考えず、新庁舎を8号線上に移転新築することが本場に町のことを考

えているのかとの声がある。

町長は、新型コロナウイルスの感染拡大などにより、町民の皆さんに直接、その内容や経過を説明する機会がなかった点に、大変申し訳なく思っている」と答弁された。

現存する役場庁舎が移転する現実に元町の町民の心情は複雑極まりないと思う。入善地区ではコロナ禍で入善地区区長会も建設問題の会合もできなかったそうだ。

元町の町民に庁舎移転内容、経過を説明する機会を設け、「遺恨」「禍根」感情を払拭し新庁舎建設すべきと思うが、その考

えはあるのか答弁願いたい。

梅津副町長 仮に元町の町民の方々に直接説明する機会を設けるとすれば、元町の皆さんに限らず、全地区において行う必要があるのではないかと思います。

また、各地区においてそういった経過についての説明の要望があれば、まちづくり懇談会とは別にでも、出前講座という形で説明をさせていただければと思う。

建築模型を公開すべきだったのでは

現時点では考えていない

問 私は、本町の一大事

業である新庁舎建設計画のパブリックコメントを町民にいち早く実施し、広く町民から寄せられた民意を参考に、その民意を全体像に反映させるべきだと述べてきた。

このような大型建築物は事前に建築模型を町民に公開展示し、それを参考にパブリックコメントをすべきだったと思う。

設計書選定のプロポーザルから基本設計決定まで時間があつたが、町民に事前に新庁舎の全体像が見える建築模型を公開展示するのが当然と思うが、なぜしなかったのか。

副町長 パブリックコメント実施の時期は、新庁

舎の外観イメージや、平面図、設備計画、今後の整備スケジュールがある程度まとまった段階で町民の皆さんにお知らせすべきと考えていた。

昨年9月頃に、全体像がまとまりこのタイミングでパブリックコメントを実施させていただいた。

新庁舎の建築模型は、実施委託業務の中で、無着色の紙による外観模型で作成しており、現時点で展示は考えていない。

レポート

総務 常任委員会

町税の滞納実態はどうか

Q 町税における滞納状況とその主な理由は何か。また、悪質なケースはあるのか。

A 固定資産税では1%程度が滞納分として発生している。理由としては生活困窮や、法人の倒産である。

また、町税一般においては人材派遣者の転居による追跡困難などの不納がある。悪質なケースは時効制度を利用して納税を逃れているケースもある。

このうち最終的な不納欠損は令和2年度では80件448万円であった。

墓地公園（やすらぎ公園）残り売区画は155区画

Q 墓地公園の現状はど

うか。

A 購入者は減少傾向にある。区画購入後の返還もある。今後も購入希望者に向けて、広報での周知や販促活動を行っていく。

Q 共同墓地も検討すべきではないか。

A 建設できるのは宗団法人などで、現時点で行政で作ることは検討していない。

障害者福祉タクシー・ガソリン利用券一回当たりの使用金額の上限を撤廃

Q 従来の一回当たり千円の上限を無くして使い勝手の良い制度に変更すべきではないか。

A 使用率は80%から90%だ。計画的に使用して欲しいとの考えで取組んできたが、要望もあり使用上限額を今回撤廃した。

地域コミュニティ・パートナーシップ構築事業組織の拡大を

Q 地域コミュニティ・パートナーシップ構築事業組織の拡大を図るべきだ。

A 現在、町内10地区のうちこの活動をしているのが5地区、休止が2地区、未整備が3地区である。

区長会などを通じて、活動活性化や、未整備のところにおいては設立に向けての要請を行ってきたい。

令和3年度不妊治療で7人が妊娠

Q 不妊・不育症治療の件数と成果はどうか。

A 令和元年度は49組で21人、令和2年度は、40組で16人が出産している。治療の回数制限もなく、助成額も手厚くしており、成果も出ている。

認知症カフェを増設

Q 認知症カフェを増設する計画だが、現在の状況と新設する場所はどこか。

A 現在、青木で1カ所

認知症カフェを運営している。利用者増が見込まれるため、新たに社会福祉協議会内に設立をする予定だ。

保育士等の処遇改善に向けて給与の引き上げを実施

Q 保育士、調理師、学童保育指導員などエッセンシャルワーカーの給与を引き上げるが、介護職や看護師は対象となるのか。

A 今回の引き上げは新型コロナウイルス感染症への対応など、最前線で働く職員の処遇改善として行うものだ。

当町での対象者は、保育士、保育補助員、調理師、学童保育指導員である。看護師においては、救急搬送指定病院の従事者が対象で本町には救急指定病院はない。

また、介護職に関しては、県の管轄となり、町では現状を把握していない。

舟見城址館の利用促進を

Q 舟見城址館や山の陣の利用が低迷している。活用方法を考えるべきだ。

A 城址館に至る林道が狭いなど課題もあるが、田園風景の素晴らしさを谷江の堤周辺の景観を生かし、ガーデン明日などと連携を図りPRしていきたい。



舟見城址館

常任委員会

産業教育 常任委員会



富山型の農機による球根作付け

富山型チューリップ
ネット栽培にチャレ
ンジ

Q 昨年、町花卉球根組
合がチューリップ
ネット栽培を試験的に試
みたが今後の展望は。

A 県花卉組合がメーカ
ーに依頼して富山型
のロボットを開発した。
今年度花卉球根組合が
110㍓でネット作付け
を行う予定だ。

将来は、球根作付けす
べてで富山型になると考
えている。

人材マッチング 企画に期待

Q 参加業種が製造業に
偏っていないか、建
設業など他の業種の傾向
はどうか。

A 30社弱の事業者が参
加している。幅広い
業種の参加があり偏って
はいない。

Q 年3回のうち1回は、
業種別の人材マッチ
ングはできないか。

A 業種別で行うのも一
つの方法だ。

しかし、規模が小さく
なり選択肢を狭めること
につながるかねない。現
行のやり方で行いたい。

他に、3Kに関係する
労働環境の改善について
はアピールしていきたい。

漁港内での一般釣り 客とのトラブル解消 対策

Q 漁港の維持管理費は
どのようなことを行
うのか。

A 漁港構内で一般釣り
客と漁業者との間で

トラブルが発生している。
警察からの指導もあり、
一般釣り客に対し防波堤
への立ち入り禁止（侵入）
の看板設置と道路へのペ
イントを行う。

町のPRにトラック ラッピングを施す

Q トラック等ラッピン
グ事業は、人目に触
れる良い企画だと思っ
ている。150万円の予算は何台
分か、どのトラックを
使うのか。

A フィルムは耐久性が
ある一定のグレード
が必要だ。今は1台分と
している。また、入善町
内の運送業者のトラック
としたい。

Q 運転手さんが対応で
きるようにQRコー
ドやチラシの作成も必要
ではないか。

A 運転手の負担になら
ないような方法を考
えていきたい。

市街地カラス追い払 い対策実証実験を行 う

Q 中心市街地カラス追
いは、ICT教育の更なる
充実を目指す

ICT教育の環境整
備としてICT支援

い払い対策実証実験の内 容は。

A 県内で実践された忌
避（きひ）用スピー
カーによる方法で、2カ
月間試験的に行う。スピー
カーは、カラスの慣れを
防ぐ対策として可動式を
選択する。

民間宅地開発事業3 30万円の増額は

Q 民間宅地開発事業の
対象面積の緩和は、
有効利用されていない土
地の活用が図られる可能
性があり評価する。

A 用途地域外では50
00㎡以上の開発行
為が補助対象となってい
たが、今回、2500㎡
を加えた。また、町民に
も宅地購入補助金が新設
された。

ICT教育の更なる 充実を目指す

Q ICT教育の更なる
充実を目指す

ICT教育の環境整
備としてICT支援

員の拡充と授業支援ソフ トの導入の内容は。

A ICT支援員の拡充
は、小学校一校当た
り16時間を32時間に拡充
し、中学校は32時間で新
設した。

支援ソフトにAIドリ
ルを導入し、個々の能力
に合わせ、最適な学びと
主体的な学習ができるよ
うにする。

また、いろんな面で先
生の負担軽減につながる。
ロイノートは子どもた
ち全員が使いこなしてい
る。

特別支援スタディメ イト派遣事業の拡充

Q 特別支援スタディメ
イト派遣事業増額の
内容は。

A この事業は普通学級
で子どもの学習面の
支援をするものだ。支援
体制を強化するため現状
の7名から12名に増員す
る。

入善小3名、ひばり野
小1名、その他2名とす
る。また、中学校では新
規に各1名配置する。

事業紹介

入善町の介護予防事業

今回は、町が行っている介護予防事業の主なものとその利用実績を紹介する。

(新型コロナウイルス感染症拡大後は利用者が減っているのですが、実績はコロナ禍前の令和元年度のものを採用した。)

●物忘れが気になる

・来いちゃ倶楽部

(認知症予防教室)

物忘れが気になる方を対象に、脳トレ、レクリエーション、運動プログラム、創作活動などを週1回実施。

開催回数 8回

参加者数 のべ125人

会場 サンウエル

・オレンジカフェ すまいる

認知症やその家族、認知症に関心のある方すべての方が、月に2回交流できるサロン。

開催回数 24回

参加者数 のべ194人

総合体育館

会場 青木(シロウマサイエンス向かい)

・認知症専門相談会

認知症やその疑いのため、困っていることや悩んでいる方に、にいかわ認知症疾患医療センターの専門相談員が月に1回相談に乗る。

令和2年1月に開始し、令和2年度からは毎月開催。

会場 サンウエル

●足腰の衰えが気になる

・しゃんしゃん教室

足腰に不安のある方を対象に体力チェック、ストレッチ、筋力アップ体操、ボール体操、かんたんヨガなどを、週1回、12回コースで実施。

開催回数 24回

参加者数 のべ345人

会場 サンウエルまたは

・いきいき100歳教室

おもりを使い、筋肉をゆつくり大きく動かす「いきいき100歳体操」を月に3回実施。

開催回数 36回

参加者数 のべ797人

会場 サンウエル

●継続した体操教室に参加したい

・らくらく体操教室

地域運動指導リーダーが、いきいき100歳体操やスクエアステップなどを月に2回実施。

開催回数 20回

参加者数 のべ237人

会場 老人福祉センター

●身近な公民館などで行う体操や講座

・100歳体操グループ

歩いて行ける公民館やセンターなど、地域でなじみの仲間と一緒に、週に1回DVDを見ながら100歳

体操を住民主体で行う。

町がおもりを貸し出し、保健センター職員などが3回程度、体操の指導・支援を行い、効果の評価も行う。

グループ数 24組

・出前講座

各地区の要望に応じて、保健師、管理栄養士などが出向いて行う講座。

講座のメニューには、転倒予防や認知症予防、口の健康、栄養改善、生活習慣病予防などがある。

開催回数 90回

参加者数 のべ1511人



編集の窓

令和3年度補正予算と令和4年度予算が可決され、新庁舎建設と関連道路の工事が始まります。

100年に一度の大事業に町民も大いに関心があると思います。町民が自慢できる庁舎に仕上がるよう町当局と議員も努めていきます。

再来年の5月には今まで以上に親しまれ、使いやすい庁舎になるよう期待したいと思います。

町民の皆様には完成までの2年間、工事の進捗状況を見守りながら町の将来に夢を膨らませてもらいたいと思います。

議会広報編集特別委員会

議長	野島 浩
委員長	中瀬 淳哉
副委員長	鍋嶋慎一郎
委員	松田 俊弘
”	本田 均
”	池原 純一
”	鍵田 昭

議会だより入善

令和4年4月27日 発行

〒939-0693

富山県下新川郡入善町入膳3255

☎0765(72)4806

FAX 0765(72)4711